



五橋キャンパスへの移転に伴い閉館となる

泉キャンパス図書館と多賀城キャンパス図書館の特別対応および作業スケジュールについて

2023年4月に開学する五橋キャンパスへの図書館移転に伴い、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、中央図書館全ての利用者に対し、以下の対応を実施いたします。

詳細は各キャンパス図書館へお問い合わせください。

1. 閉館日 【中央図書館は通常どおり開館】

泉キャンパス図書館	2023年2月6日(月) ※利用は2月4日(土)まで
多賀城キャンパス図書館	2023年2月13日(月) ※利用は2月10日(金)まで

2. 貸出に関する特別対応 <期間：2023年1月19日(木)～2023年4月21日(金)>

- ・卒業及び修了予定の学生 2023年3月31日(金)まで
- ・学外者(一般、同窓生、退職者、中高生)は対象外(表1)

返却期限日	2023年4月21日(金) <特別対応期間中に返却期限日となる資料> ※再貸出はできません
冊数	教育・研究上の理由により規定の冊数以上の貸出を希望される場合は、誓約書に署名いただいた上で個別に対応いたします。
禁帯出資料の貸出 (本学専任教職員のみ)	
貸出資料の返却先 (表2)	泉キャンパス図書館および多賀城キャンパス図書館の閉館後は、中央図書館または五橋コラトリエ・ライブラリーに返却してください。 五橋コラトリエ・ライブラリーへの返却は、2023年4月1日(土)より受け付けます。

3. 文献複写及び相互貸借の受付 【中央図書館は通常どおり対応】

	文献複写	相互貸借
学内所蔵資料	2023年1月12日(木)まで	
学外図書館・他機関資料	2023年1月18日(水)まで	2022年12月24日(土)まで

※(表1) (表2)は次ページ以降をご参照ください。

4. 移設作業スケジュール（予定）【作業期間中は対象資料の貸出を停止いたします。】

対象資料	作業期間
泉キャンパス図書館 → 中央図書館	
貴重書・マイクロ資料など	2022年10月17日～2022年10月19日
閉架資料の一部	2023年2月1日～2023年3月中
開架資料の一部 他	2023年2月6日～2023年3月中
泉キャンパス図書館 → 五橋コラトリエ・ライブラリー	
開架・閉架一部資料	2023年2月6日～2023年3月末
多賀城キャンパス図書館 → 中央図書館	
閉架資料	2022年10月11日～2022年10月14日
開架資料	2023年2月13日～2023年4月中
多賀城キャンパス図書館 → 泉キャンパス図書館	
閉架資料（3号館閉架資料）	2022年10月11日～2022年10月14日
開架資料	2023年2月13日～2023年6月中
多賀城キャンパス図書館 → 五橋コラトリエ・ライブラリー	
開架資料	2023年2月13日～2023年3月末
中央図書館、中央図書館分室 → 泉キャンパス図書館	
一部資料	2022年11月中
中央図書館 → 中央図書館分室	
一部資料	2022年12月5日～2022年12月中
中央図書館、中央図書館分室 → 五橋コラトリエ・ライブラリー	
一部資料	2023年2月～2023年3月末

（表1）：貸出冊数・貸出期間（通常時と特別対応の比較）

		通常時（利用規程）		特別対応	
		貸出冊数	貸出期間	貸出冊数	対象返却期間 2023年1月19日～4月21日
本 学	学部学生	10冊まで	15日以内	規程通り （ただし教育・研究上やむを得ない理由がある場合は個別対応とする）	一律4月21日とする （ただし3月卒業予定の学生等の返却期日は3月31日とする）
	大学院生	20冊まで	1カ月以内		
	名誉教授 非常勤教職員 研究員	うち学習図書 は10冊まで	うち学習図書 は15日以内		
	専任教職員	160冊まで うち学習図書 は10冊まで	1年以内 うち学習図書 は15日以内		
本 学 院	役員	10冊まで	3カ月以内	規程通り	規程通り
	専任教職員	うち学習図書 は10冊まで	うち学習図書 は15日以内		
	中高生徒	3冊まで	8日以内		
同窓生		10冊まで	15日以内	規程通り	規程通り

(表 2) : 貸出資料の返却先

	カウンター				返却ボックス				郵送			
	泉	多	中	五	泉	多	中	五	泉	多	中	五
○：可能 ◎：1月17日必着												
1月17日まで	○	○	○		○	○	○		◎	◎	○	
1月18日～2月4日	○	○	○				○				○	
2月6日～2月10日		○	○				○				○	
2月13日～3月31日			○				○				○	
4月1日以降			○	○			○	○			○	○

泉：泉キャンパス図書館 多：多賀城キャンパス図書館 中：中央図書館 五：五橋コラトリエ・ライブラリー

新聞を読んでもみよう

—新聞は過去から現在までの多様な時事的情報を記録しています—

所蔵新聞リスト



新聞記事は新聞社ごとにあらゆる観点から情報を捉え、様々な考え方で解説していますので思考の幅や知識が広がり、その時代の出来事、社会情勢の背景を幅広く知ることができます。

図書館では最新の新聞から、明治・大正・昭和など過去の新聞を原紙やデータベース、縮刷版として約40種類所蔵しています。

データベース

アクセス方法：図書館ホームページ > データベース > オンラインデータベース > 新聞・ニュース

キーワード検索や日付を指定し調べたい記事を絞り込むことができるのが特徴です。

最新の記事だけでなく、過去に起こった出来事を、調べたい対象を特定し絞り込むことで課題や情報収集に役立ちます。

新聞記事データベース

掲載以外に、海外の新聞記事もデータベースで見ることができます。ホームページのデータベースリストからご覧ください。

河北新報データベース

東北の地域情報・地元宮城の情報はもちろん、国際、国内のニュースも網羅しています。

朝日新聞クロスサーチ

思いついた言葉で検索できる全文検索方式で、記事テキスト本文を表示して読むことができます。

朝日新聞デジタル(一部のコラムなど)や雑誌「AERA」「週刊朝日」の記事も収録されています。ジャンル検索に、就職活動に役立つ「就活応援」のカテゴリもあります。

ヨミダス歴史館

読売新聞と逐次、収録された地域版記事が利用できるほか、「現代人名録」、The Japan News(英字新聞)も収録しています。

日経テレコン 21 ※上限あり

日経四紙(日本経済新聞・日経産業新聞・日経流通新聞(MJ)・日経金融新聞)の新聞記事のほか、企業の基本情報、人事情報等も幅広く蓄積しています。「企業検索」から志望企業の基本情報調査や業種・規模による絞り込みが可能です。

Factiva.com

世界各国の新聞、業界紙、雑誌などのニュースから、企業情報、マーケット情報など多岐に渡るビジネス情報の検索ができるウェブベースのサービスです。企業財務情報、現在から過去の市場データ、アナリストレポートなどへのアクセスも可能です。日本語のインターフェイスが利用できます。

※同時アクセス数には限りがあります。

検索を終了する場合は、メニューのログアウトで終了してください。

先生の本棚

本学教員に、オススメの1冊を紹介していただきました。
図書館で借りることもできますので、ぜひご一読ください。

文学部・英文学科

『漢字再入門』

植松 靖夫 先生

阿辻 哲次著, 中公新書

(泉キャンパス図書館所蔵)

本書を誤解されないように紹介しようとするので四千字は必要なので、敢えて誤解されても大きな問題にはならない点だけ強調します。1)漢字の書き取りで「はねる・はねない」「出る・出ない」などで採点している国語の教師は漢字の基礎も理解していない。2)「筆順」は文科省も『筆順指導の手びき』の最後にある「本書使用上の留意点」で明言している通り、厳密に決まっているわけではないので、そもそもそれを試験に出すこと自体が間違っている。以上の二点を理解していない人にとって本書は必読書です。



経済学部・経済学科

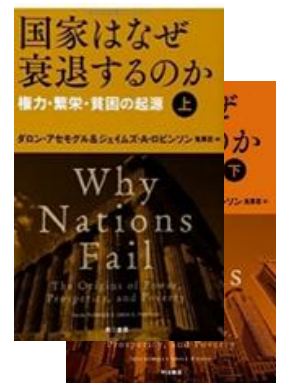
『国家はなぜ衰退するのか 権力・繁栄・貧困の起源(上)(下)』

松前 龍宜 先生

ダロン・アセモグル、ジェイムズ・A・ロビンソン著 鬼澤忍訳 早川書房 2013

(中央・泉キャンパス図書館所蔵)

豊かな国と貧しい国の違いは何でしょうか。忍耐強さや教育水準の違いは、確かに重要です。でも韓国と北朝鮮を見てください。朝鮮戦争前は同一の民族であり、忍耐強さも教育水準も同じでした。しかし、戦後の分断によって豊かさに格差が生じました。東西ドイツも同様です。著者たちは、「国の意思決定にどれほど多くの国民が関わっているか」という「制度」の違いを強調します。本書は、貧困から脱して豊かな国家を築く条件を、様々な国の実例を基に紐解いています。経済格差や貧困の問題に興味のある方は、是非ご一読ください。



工学部・環境建設工学科

『自分の中に毒を持って』

崎山 俊雄 先生

岡本 太郎著 青春文庫, 1993

(中央図書館所蔵)

作品『太陽の塔』(1970年大阪万博)や『芸術は爆発だ』というフレーズで知られる世界的な芸術家・岡本太郎の創造論。その作品や言動の激しさゆえに奇才と称されることもある芸術家は、その裏に深い考察に基づく明確な哲学を持っている。芸術は人生そのものである。自分らしく生きるのではなく、人間らしく生きるのだ。と彼は言う。その言葉は芸術論を超えて、人生論として私たちに届く。令和の時代にも響くメッセージの数々は、私たちが日々を乗り越えていく上で勇気を与える。ぜひ若いうちに読んでいただきたい一冊。



教養学部・情報科学科

『殺しの双曲線』

片方 江 先生

西村京太郎著, 講談社, 2012(新装版)

西村京太郎(1930-2022)といえば十津川警部シリーズのトラベルミステリーが有名ですが、本書は著者自身がベスト5に掲げる本格ミステリーです。ノックスの十戒に従い「この推理小説のメイントリックは、双生児であることを利用したものです。」と読者に挑戦しています。双曲線とは「2定点からの距離の差が一定である点の軌跡」として定義される二次曲線のことですが、本書には双曲線は現れませんので数学が苦手な方も安心して西村ミステリーをご堪能ください。

